

※本校の資料をもとに生成AIで作成されています
字形に多少の乱れがあることをご理解ください

神森小学校 家庭学習ガイド

ご家庭と学校で育む、子どもたちの「できた！」

浦添市立神森小学校

学校とご家庭は、子どもたちの成長を支える「一つのチーム」です



本日のゴールは、神森小学校の
家庭学習の仕組みを共有すること
です。



単なる「ルールの説明」ではなく、
子どもたちが意欲的に学び、自信をつける
ためのサポート方法をお伝えします。



毎日の少しの関わりが、子どもたち
の大きな「できた!」につながります。

神森小の家庭学習を支える「2つの柱」

柱1：宿題



先生からの毎日の課題。
基礎学力と学習習慣を
しっかりと定着させます。

日々の
積み重ね

柱2：かみもりり学習



自らテーマを決めて取り組む
自主学習。知的好奇心と
自己調整力を育てます。



自主性の
育成



2つの学習アプローチの違いと役割

	 宿題	 かみもり学習
目的と内容	教師からの指定課題（基礎定着）	内容は自由。自ら選ぶ自主学習
提出の頻度	毎日提出（必須）	基本的に提出不要（自身のペースで）
評価・ フィードバック	「よいこのあゆみ」の評価項目に反映	銀賞・金賞制度による表彰（応募制）
月末の振り返り	「パワーアップシート」の提出（銀賞に応募したい場合は、写真や動画も一緒に）	

毎月末の「パワーアップシート」で自己調整力を育む



自己調整力とは？：自分の学習を振り返り、次にどう活かすかを自分で考える力です。

月末のルーティン：毎月末、宿題への取り組みをシートに記入し、振り返りを行います。

提出方法：お家の人のコメント欄も含めて全て記入したらロイロノートで提出します。

単に宿題をこなすだけでなく、「やり切った達成感」と「次への目標」を持たせます。

ワクワクを生み出す「かみもり学習 銀賞・金賞」制度

かみもり学習
金賞

実施月：7月、12月、3月
銀賞受賞者の中から、各学級1名を選出。
同じく校内放送で大々的に表彰！



かみもり学習
銀賞

実施月：4～6月、9～11月、1～2月
各学級から1名選出。学推担当者が
校内放送で名前と内容を発表！



日々の自主学習

内容は自由！自分の好きなこと、深めたいことをノートにまとめます。

毎月末の提出サイクル（ロイロノートの活用）

Step 1: 写真を撮る



全員 → 「家庭学習パワーアップシート」を記入

銀賞に応募する人 → 「かみもり学習」の様子がわかる写真や動画を撮る

Step 2: ロイロノートで送信



全員 → 「家庭学習パワーアップシート」を提出

銀賞に応募する人 → 写真や動画も提出

Step 3: 校内放送で表彰



各学級1名の銀賞を選出 → 校内放送で表彰

金賞は銀賞の中から選出されます

ご家庭へのお願い：学習効果を最大化する4つのアクション

子どもたちの意欲を高め、学習のつまずきを防ぐために、
以下の4点のサポートをお願いいたします。

1



ノート上部の記載確認
(日付・時間・内容)

2



困っている時のサポート
(その日のうちに解決)

3



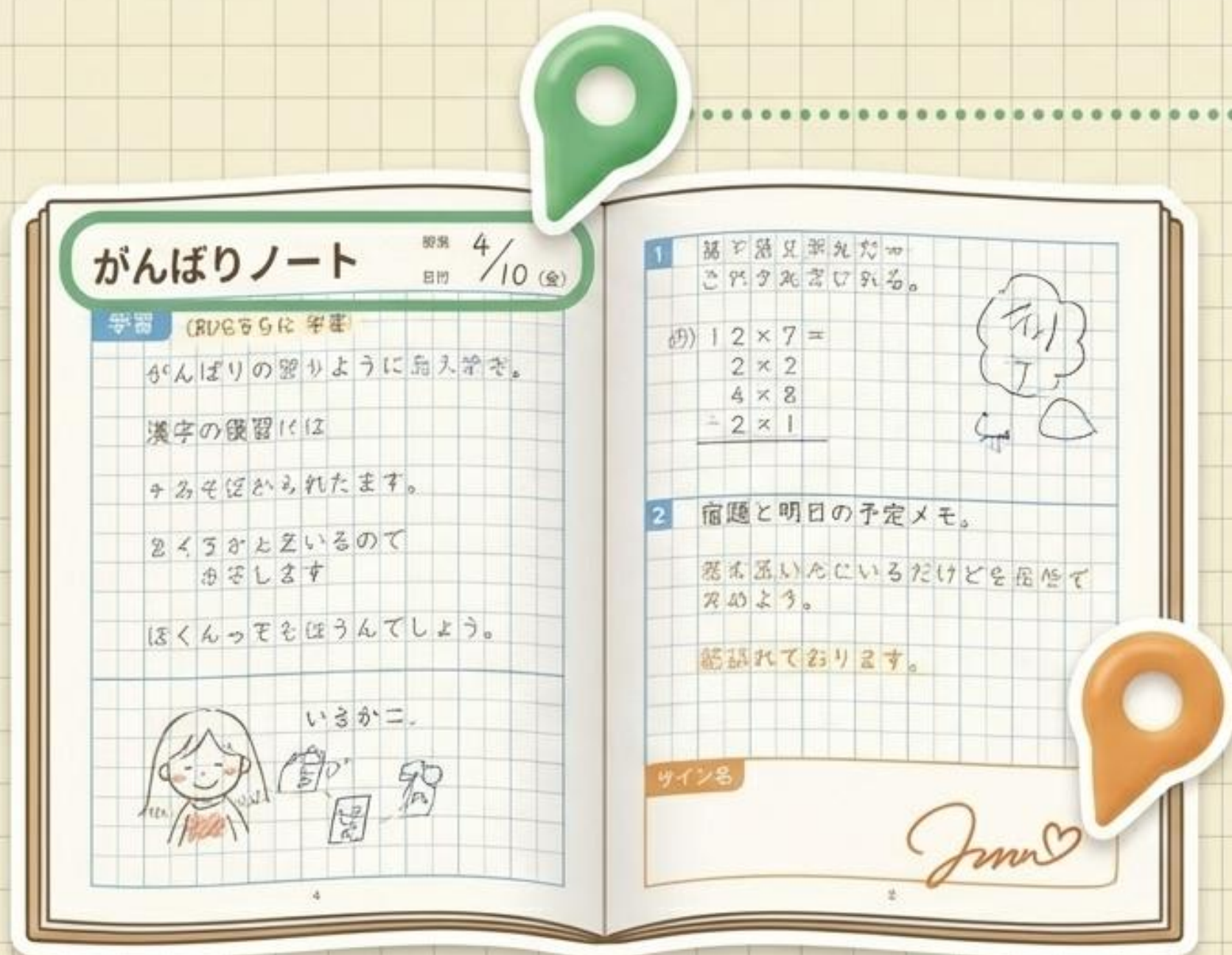
翌日の確認とサイン
(マルつけ・添削)


4



月末の温かいコメント
(パワーアップシートへ)

アクション①&③：理想的なノートの書き方とサイン



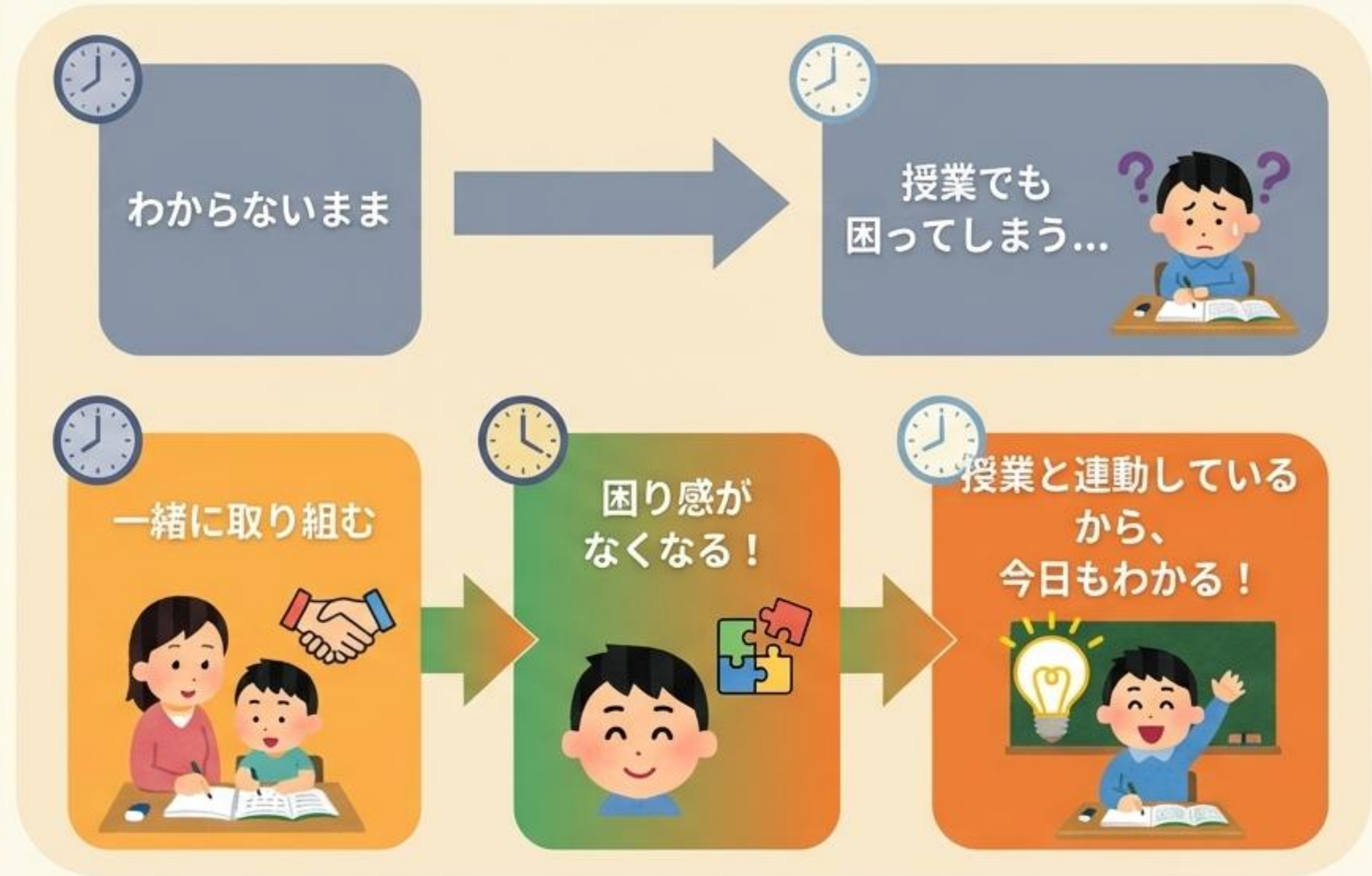
 **【確認】** ノート上部に
「日付・時間・学習内容」があるか？
例：「4/10 (金)・午後6時～6時40分・漢字の復習」
Why? 学習のペース作りに役立ちます。



【サイン】 宿題と明日の予定メモを見てサインを！
Bonus! 宿題の「マルつけ」や
「添削」をしていただけると、
思わぬつまずきの早期発見につながります。

アクション②：困っている時は「その日のうちに」一緒に解決

宿題は、日々の授業と密接に連動しています。問題が解けないなど、子どもが困っている様子があれば、ぜひ一緒に取り組んであげてください。前日の夜に「わからない」をなくすことが、翌日の授業での「わかった！」という笑顔に直結します。



アクション④：月末のシート記入は、子どもへの最高の「報酬」

毎月末にロイロノートで提出する「パワーアップシート」には、【お家の人のコメント】欄があります。

「毎日がんばっていたね」
「字が丁寧になったね」
といった、保護者の皆様からの温かい言葉が、子どもたちにとって一番のモチベーションになります。



※かみもり学習（銀賞）に応募する際は、シートと学習データをセットでご提出ください。

担当教員からのメッセージ：「家庭の関わりがもたらす魔法」



学推・授業改善担当
眞榮城先生より

学習で困っている児童に対しては、学び方を具体的にアドバイスしました、例えば
「これは、家で復習しておいたほうがいいよ」
「家でわからなかったら、家族に教えてもらおうんだよ」
「予習をすると授業が楽になるよ」・・・など

「予習したから今日はよくわかった！」


「家族とやったおかげでわかるようになった！」

家庭でサポートを受けた児童は、いきいきとした表情になり、学習への姿勢も点数も目に見えて良くなっていきました。

家族のサポートが「自信」に変わるまで（成長の上昇スパイラル）



「子どもは皆、無意識のうちに『よくなりたい』『できるようになりたい』と願っています。
その思いを引き出すのが、ご家庭の温かい関わりです。」



一緒に子どもたちの成長を見守りましょう



「宿題」で基礎を固め、「かみもり学習」で好奇心を伸ばす。



ノートへのサインや月末の温かいコメントが、最大の原動力になります。



ロイロノートを活用して、毎月の「がんばり」を共有してください。

チーム神森として、ご家庭と学校で手を取り合い、子どもたちの「できた！」という笑顔をたくさん創っていきましょう。ご協力をお願いいたします。